

岩手・宮城県際ネットワーク

— 平成31年2月1日発行 — (担当公所：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所) (第158号)

●編集・発行 地域づくり団体ネットワーク岩手・宮城県際交流会事務局

岩手県 県南広域振興局経営企画部	0197-22-2812	http://www.pref.iwate.jp/kennan/keiei/index.html
岩手県 沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター	0192-27-9911	http://www.pref.iwate.jp/engan/ofuna_chiiki/index.html
宮城県 北部地方振興事務所栗原地域事務所地方振興部	0228-22-2195	http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khsgsin-e/
宮城県 東部地方振興事務所登米地域事務所地方振興部	0220-22-6123	http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-e/
宮城県 気仙沼地方振興事務所地方振興部	0226-24-2593	http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-e/

圏域情報

◆◆◆◆ 宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所 ◆◆◆◆

地域づくり団体協議会栗原支部の活動をご紹介します！

地元で地域づくりに取り組んでいる団体が、どのような活動をしているかについては、団体同士でも意外と知られていない場合があります。そこでみやぎ地域づくり団体協議会栗原支部では、「活動拝見！地域づくり見学会」と題して、各会員団体を訪問し、活動の内容を視察する活動を平成27年10月から継続して行っています。

平成30年度の第2回目となる1月27日の見学会では、「一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク」を訪問しました。くりはらツーリズムネットワークは、栗原地域の資源を活用した体験プログラムを実施している団体です。

その活動内容を体験しながら学ぼうと、支部会員を含む14名が参加しました。まずは、団体概要や活動の内容を大場事務局長から紹介いただきました。地域の人が見落としがちな魅力ある資源を体験プログラムとして創出し、実践していることに参加者は感銘を受けるとともに、自らの活動へのヒントを学ぶ機会となりました。

次に、「ミニミニほうきづくり」を体験しました。昔からの藁文化の良さを再認識し、稲わらで一人一本小さなほうきを作りました。「手間が掛かるし、思った以上に難しい」「昔の農家さんは、農閑期につくっていたのかもね」と先人の知恵とその技を実感しながら、菅原研究員の指導の下、ミニほうきを完成させました。少し不格好ながらも、参加者は完成したほうきを手に大満足の様子でした。



栗原支部では、これからも魅力ある地域づくりに向け、活動を継続していきます。

■お問い合わせ先

みやぎ地域づくり団体協議会栗原支部事務局
(宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所
地方振興部商工・振興班内)

電話：0228-22-2195

みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期(中田工区)が開通!

平成30年12月25日にみやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期(中田工区)が開通しました。みやぎ県北高速幹線道路は、宮城県北部において東北縦貫自動車道と三陸縦貫自動車道を結び、栗原圏域と登米圏域の交流や連携を強化する地域高規格道路であり、被災地の復興支援や災害時における救援物資輸送等を担う復興支援道路です。

三陸縦貫自動車道登米ICから登米市中心部の佐沼ICまでの4.7キロメートル区間をⅡ期(中田工区)として、平成23年度から整備を進めてきました。この度の供用により、沿岸部と内陸部を結ぶ広域道路ネットワーク

が形成され、市街地の交通渋滞緩和や、地域産業の振興、観光交流の活性化、救急医療活動への支援が図られるとともに、県の復興にも大いに寄与することが期待されます。

開通式では、村井知事や関係市町の長をはじめ、国会議員、県議会議員、市議会議員及び国土交通省や復興庁などの関係機関、地元行政区長や地元住民の方々など約130名にご出席いただきました。

■お問い合わせ先

東部土木事務所登米地域事務所

電話：0220-22-5115



(開通式の様子)

〈整備効果〉	
◆登米市 ⇄ 南三陸町	38分 → 29分 = 9分短縮
◆登米市 ⇄ 石巻市	60分 → 43分 = 17分短縮

受験生の味方！「オクトパス君」

受験シーズンに入り、一段と勉強を頑張っている受験生を応援する南三陸のキャラクター「オクトパス君」についてご紹介します。



「オクトパス君」は南三陸町入谷地区にできた「Yes 工房」で制作されています。南三陸町名産のタコをモチーフにしたキャラクターで、「置くと（試験に）パスする」という縁担ぎから、合格祈願グッズとして人気があります。

工房では、オクトパス君に合格の願いを込めて色を塗り、オリジナルの文鎮を作ることができます。



工房からすぐ近くの入谷八幡神社にはオクトパス君が奉納されており、全国各地から受験生が合格祈願に訪れているそうです。



なお、工房では FSC 認証木材を使用したレーザークラフトや入谷地区で生産された繭を使ったブローチなど、南三陸町の地域資源を活用した素敵なグッズも販売しています。



※FSC とは適切な森林管理が行われていることを認証する制度です。南三陸森林管理協議会が宮城県では初の FSC 森林認証を取得しました。

■お問い合わせ先

南三陸復興ダコの会（Yes 工房）

住所：宮城県本吉郡南三陸町入谷字中の町 227

電話：0226-46-5153

H P：<http://ms-octopus.jp/>

『南いわてプロジェクト創出ラボ』(第4回地域活性化塾)を開催します！！

県南広域振興局では、若者の目線から県南の地域課題解決に向けた新たなアイデアを創出し、地域の活性化を図るとともに、若者の地域愛の醸成や地元定着化に向けた、シビックプライドを育むことを目的として、一昨年12月、昨年4月、10月に引き続き「南いわてプロジェクト創出ラボ」を開催します。

- 日時 平成31年2月7日(木)
午後6時～午後8時30分
- 場所 市民プラザ・マッセ多目的ホール
(奥州市水沢横町2-1 メイプル地階)
- 対象者
地域をおもしろくするイベントや事業に興味がある人、実践したい人

参加無料

第4回 南いわて地域活性化塾

南いわて

プロジェクト創出ラボ

先着
20名様

地域を盛り上げる事業を実現したい。

アイデアに協力する仲間を見つけたい。

イベントで地域を盛り上げたい。

地域おこし協力隊活動の参考にしたい。

まちづくりや地域おこしで難く力をつけたい。

多くの若者とネットワークを築き何か興したい。

日時 2019年2月7日(木) 18:00～20:30

会場 市民プラザ・マッセ 多目的ホール
(奥州市水沢横町2-1 メイプル地階)

主催 岩手県 県南広域振興局 **共催** 水沢信用金庫

第1部	『新ビール文化「遠野醸造」のコミュニティブルワリー』
インプット	事例報告者 田村 淳一氏 ((株)遠野醸造取締役)
18:00～18:30	『畑でソトメシ！SORAの活動』【H30いわて若者アイデア実現補助事業】
	事例報告者 櫻庭 伸也氏 (SORA代表・花巻市地域おこし協力隊)
第2部	『アイデアの結集、チームの結成、プランの策定』
アウトプットワーク	アドバイザー 福田 一馬氏 ((株)ぼうけん代表取締役) 佐藤 柊平氏 ((一社)世界遺産平泉・一関DMOディレクター) 瀬川 加織氏 ((特非)いわて連携復興センター地域コーディネーター統括)
18:35～20:30	① 個人アイデアの発表 ② アイデアを元にチームグループピング ③ チームでブラッシュアップを行い、チームプランを策定し、事業実施を目指します。

※参加者は2/4までに、別紙『ラボ事前シート』の提出が必要となります。
(ラボ事前シートの様式は岩手県HPにもございます。『第4回 南いわてラボ』で確認ください。)

- 参加人数
最大20名(先着順)
- プログラム
第1部 インプット (18:00～18:30)
『新ビール文化「遠野醸造」コミュニティブルワリー』
事例報告者:田村 淳一氏 ((株)遠野醸造取締役)
『畑でソトメシ！SORAの活動』
事例報告者:櫻庭 伸也氏 (SORA代表)
- 第2部 アウトプットワーク (18:35～20:30)
『アイデアの結集、チームの結成、プランの策定』
アドバイザー:
福田 一馬氏 ((株)ぼうけん代表取締役)
佐藤 柊平氏
(一社)世界遺産平泉・一関DMOディレクター
瀬川 加織氏
(特非)いわて連携復興センター地域コーディネーター統括)

田村 淳一氏

㈱遠野醸造の取締役として、昨年春に開業したビール醸造所兼レストラン『遠野醸造TAP ROOM』の経営に関わる。遠野市で「ホップの里からビールの里」をスローガンに新しいまちづくりにも積極的に関与し、『遠野ホップ収穫祭2018』の実行委員長も務める。



櫻庭 伸也氏

Profile

イベント、WEBメディアのディレクター職を経て、地域での暮らしに魅力を感じ移住。都市部と地域の人をつなぎ農業や食の魅力を伝えることを目標に現在は岩手県花巻市の地域おこし協力隊として活動中。若手農家等で構成するSORAの代表である。



■お問い合わせ先

岩手県 県南広域振興局経営企画部
企画推進課ふるさと振興支援グループ
電話：0197-22-2812

「吉浜スネカ」ユネスコ無形文化遺産登録！

平成 30 年 11 月 29 日、インド洋の島国モーリシャス共和国で開催された国連教育科学文化機関（ユネスコ）の政府間委員会で、大船渡市三陸町吉浜の小正月行事「吉浜のスネカ」を含む全国 8 県 10 件の伝統行事「来訪神：仮面・仮装の神々」が無形文化遺産に登録されました。無形文化遺産への登録は、県内では花巻市大迫町の「早池峰神楽」に続き、2 件目となります。

「来訪神：仮面・仮装の神々」とは、仮面をかぶり仮装した異形の姿をした者が、正月や季節の節目に「来訪神」として家や集落を訪れ、怠け者を戒めたり、人々に幸福をもたらしたりする行事のことで、以下の 10 の行事で構成されています。

「来訪神：仮面・仮装の神々」10 行事	
男鹿のナマハゲ	秋田県男鹿市
吉浜のスネカ	岩手県大船渡市
遊佐の小正月行事	山形県遊佐町
米川の水かぶり	宮城県登米市
能登のアマメハギ	石川県輪島市、能登町
見島のカセドリ	佐賀県佐賀市
甑島のトシドン	鹿児島県薩摩川内市
薩摩硫黄島のメンドン	鹿児島県三島村
悪石島のボゼ	鹿児島県十島村
宮古島のパーントゥ	沖縄県宮古島市

10 件はいずれも国の重要無形民俗文化財に指定されており、登録の可否を事前審査するユネスコ補助機関は 10 月に登録を勧告していました。行事のうち「甑島のトシドン」が平成 21 年に単独で登録された後、続いて「男鹿のナマハゲ」の登録を目指しましたが、トシドンと類似しているという理由で見送られたため、政府が、複数の行事をまとめて 1 つの

遺産とみなす手法に切り替えた経緯があった末、今回の「来訪神」の登録に至りました。



「吉浜のスネカ」は、江戸時代から伝わる伝統行事で、毎年 1 月 15 日に行われます。

「スネカ」の語源は、「スネカワタグリ」とされ、冬の長いこと囲炉裏のそばにあたって火斑ができた怠け者の「脛皮（すねかわ）」を「たくる（はぎ取る）」ことから来ています。恐ろしい形相の面をつけ、藁やアワビの殻などを身にまとい、身を屈めて鼻を鳴らしながら歩くのが特徴で、「カバネヤミ（怠け者）いねえが」「泣くワラシいねえが」などと声を張り上げ、各家の子どもや怠け者を戒めます。東日本大震災以降は、このかけ声に「元気でいろよ」などのいたわりの言葉も加わりました。

今後も、地域の人々の思いを大事にしながら、これまでの伝統を絶やすことなく、後世へ伝える活動に取り組んでいきます。

■お問い合わせ先

大船渡市教育委員会生涯学習課
電話：0192-27-3111

イベント情報など

◇◆◆◇ 宮城県北部地方振興事務所
栗原地域事務所 ◇◆◆◇
第14回花山雪っこまつり

栗原市花山で、さまざまな雪遊びを楽しめるお祭り「花山雪っこまつり」が開催されます。雪上ドッチビー大会、スノーモービル体験、歩くスキー、雪の滑り台でのそり遊びなど、雪を楽しむイベントが盛りだくさんです。

特に、“雪上綱引き大会”は、毎年、出場した皆さんが白熱した戦いを繰り広げます。また、会場では冷えた身体を温める“りんごの足湯”も利用できます。

子どもはもちろん、大人も童心にかえって雪遊びを楽しんでみませんか。



■日時

平成31年2月16日(土)、17日(日)
午前10時～午後3時

■場所

道の駅路田里(ろーたりー)はなやま前ほか
(栗原市花山字本沢北ノ前112-1)

■お問い合わせ先

花山雪っこまつり実行委員会
(道の駅路田里はなやま内)
電話：0228-56-2265

◇◆◆◇ 宮城県北部地方振興事務所
栗原地域事務所 ◇◆◆◇
第20回くりこま商家のひな祭り

栗原市栗駒岩ヶ崎商店街で、春を呼ぶ「くりこま商家のひな祭り」が開催されます。商家に代々伝わるひな人形が、各店舗に展示されます。

また、特設会場では日本古来の「正藍冷染(しょうあいひやぞめ)」やサクラ、アカネなどで染めた「草木染」のつるし飾りが展示・販売されるほか、栗駒鶯沢商工会女性部員が市民と一緒に製作した世界谷地に咲く高山植物「ニッコウキスゲ」のつるし飾りが飾られます。

世代を超えて愛されるひな人形を、ぜひご覧ください。



■開催期間

平成31年2月23日(土)～3月3日(日)

■開催場所

栗原市栗駒岩ヶ崎六日町通り商店街
メイン特設会場((有)佐々木金物店隣)
他各店舗

■お問い合わせ先

くりこま商家のひな祭り実行委員会
(栗駒鶯沢商工会内)
電話：0228-45-2191

◆◆◆◆ 宮城県東部地方振興事務所
登米地域事務所 ◆◆◆◆
米川の水かぶり

「米川の水かぶり」は、毎年2月の初午の日に火伏せ行事として行われる、800年以上続く伝統行事で、昨年11月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

わら装束をまとい、顔を黒く塗った男たちが、通りに置かれた水を家々に豪快に掛けながら町中を走ります。見学に訪れた方々は、水かぶりの男たちが身につけたわらを引き抜き、自分の家の屋根に上げて火伏せを祈願します。



■日時

平成31年2月2日（土）午前9時30分～

■場所

登米市東和町米川五日町地区
大慈寺山門広場

■お問い合わせ先

登米市役所東和総合支所
電話：0220-53-4111

◆◆◆◆ 宮城県東部地方振興事務所
登米地域事務所 ◆◆◆◆
東北風土マラソン&フェスティバル 2019

3月23日（土）、24日（日）に「東北風土マラソン&フェスティバル 2019」が開催されます。

東北のグルメや日本酒仕込み水を味わいながら春の美しい長沼の畔を走る「東北風土マラソン」と、登米市内外のご当地グルメを堪能できる食の祭典「登米フードフェスティバル」、東北各地の日本酒が集まる「東北日本酒フェスティバル」など盛りだくさんの内容です。23日には、被災地等を日帰りで訪ねる「東北風土ツーリズム」も開催します。ランナーだけでなく、たくさんの人が集まり、楽しめるイベントです。



■開催日

平成31年3月23日（土）、24日（日）

■場所

長沼ボート場（長沼フートピア公園）

■お問い合わせ先

東北風土マラソン&フェスティバル2019実行委員会
URL：<http://tohokumarathon.com/>

◆◆◆◆ 宮城県気仙沼
 地方振興事務所 ◆◆◆◆
しごと場 あそび場 ちょいのぞき 気仙沼

気仙沼の仕事や暮らしの魅力を体験できるイベントを、毎週開催しています。

2月、3月は、プロに教わるケーキづくりやそば打ちのほか、魚の流通を支える氷屋や函屋などを「ちょいのぞき」できる魅力的なプログラムが満載です。

指定の日以外にも、個人や団体の旅行に合わせてプログラムを体験することも可能です。電話又はWEBでお問い合わせください。



■開催日

- 平成 31 年 2 月 3 日 (日)
「バレンタインケーキをつくろう！」
- 平成 31 年 2 月 9 日 (土)
「気仙沼いちご農家体験」
- 平成 31 年 2 月 10 日 (日)
「おでん付 サメのはんぺんをつくろう！」
- 平成 31 年 2 月 16 日 (土)
「氷の水族館の舞台裏を探検！」
- 平成 31 年 2 月 17 日 (日)
「本物のサメの歯キーホルダーをつくろう！」

■お問い合わせ先

気仙沼市観光サービスセンター
 電話：0226-22-4560
 URL：<https://cyoinozoki.jp/>

◆◆◆◆ 宮城県気仙沼
 地方振興事務所 ◆◆◆◆
極上！三陸ワカメ作り体験 2019

南三陸町志津川湾の外海は、荒波で水温が低く、葉肉が厚く美味しいワカメが育つ海域です。中でも歌津地域は全国でも有数の質が高いワカメを生産しています。

そんな自慢のワカメを①乗船して収穫を体験 ②ワカメの加工体験 ③地元ならではの食べ方「ワカメのしゃぶしゃぶ」の試食 と満喫できる3～4月の期間限定プログラムを開催します。



写真提供：南三陸町観光協会

■開催予定日

- 平成 31 年 3 月～4 月の日曜日
 午前 10 時～正午
 3 月：3 日、10 日、17 日、24 日、31 日
 4 月：7 日、14 日、21 日

■料金

一人 3,780 円 (税込)

■定員

各日 21 名 (最少催行人数：6 名)

■お問い合わせ先

一般社団法人南三陸町観光協会
 電話：0226-47-2550
 URL：<https://www.m-kankou.jp/event/208396.html/>

◆◆◆◆ 岩手県 県南広域振興局 ◆◆◆◆
中尊寺節分会

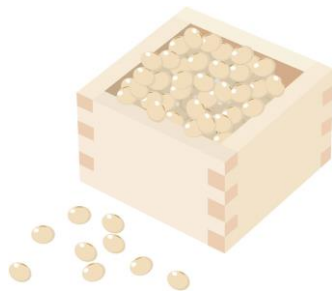
節分の豆撒きは招福の嘉例、立春大吉を迎える行事です。

本堂で護摩折禱の後、大相撲関取を迎え、厄年の善男・善女とともに「福は内、鬼は外」と声高らかに豆をまき、境内は終日にぎわいます。

中尊寺伝承の「魔滅大師(まめだいし)」は七難を祓う護符であり、苦難を乗り越える心意気を示すものとして好評です。



- 開催日 平成 31 年 2 月 2 日(土)
- 時間 午後 1 時 30 分～
- 場所 中尊寺
- お問い合わせ先
 中尊寺
 電話：0191-46-2211

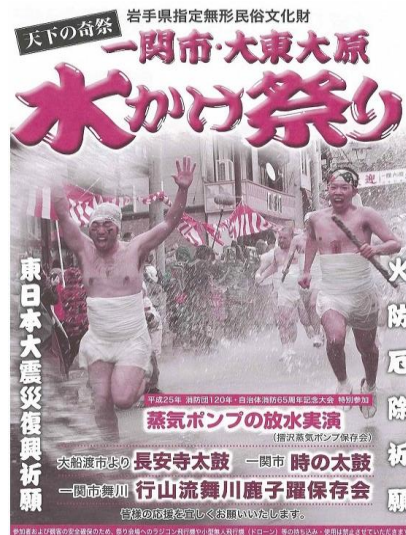


◆◆◆◆ 岩手県 県南広域振興局 ◆◆◆◆
一関市・大東大原水かけ祭り

天下の奇祭「大東大原水かけ祭り」は、明暦3年(1657年)江戸に大火があり、この日を厄日と定め、火防祈願や防戦伝を兼ねた祭りとして始まったものと伝えられています。

今日では「火防祈願」「無病息災」「大願成就」を祈願し厄年の男たちは裸で町の中を走り抜け、人々は桶を持って待ち構え、諸々の願いをこめて男達に水を浴びせかけるという祭りです。

先頭を切って走る厄男の持つ旗には「火防御祈禱」としたためられています。



- 開催日 平成 31 年 2 月 11 日(月・祝)
- 時間 午前 9 時～午後 3 時 50 分
 (水かけは午後 3 時～)
- 場所 一関市大東町大原
 大原商店街ほか
- 料金
 - ・裸男の参加費用 6,600 円
 (装束を自前で調達できる場合は 2,000 円)
 - ・駐車場協力金 一台 500 円
 (裸男、一般ともに)
- お問い合わせ先
 一関市・大東大原水かけ祭り保存会
 (一関市大原市民センター内)
 電話：0191-72-2282

◆◆◆◆岩手県 沿岸広域振興局経営企画部
大船渡地域振興センター◆◆◆◆
三陸・大船渡第22回つばきまつり

「三陸・大船渡つばきまつり」は、平成9年から開催されており、今年で22回目となります。

つばきは大船渡市の花に指定され、多くの人に親しまれています。会場である、世界の椿館・基石は、世界13か国約550種類の椿と、地域で生産された四季折々の花きの植栽展示をしています。

期間中の日曜日には、椿油搾油体験や雑貨づくり・寄せ植え体験、椿スイーツ販売、椿油を使ったけんちん汁のお振る舞いなど、椿にちなんだ催しが行われます。

他にも、ガーデニング講演会の開催や期間中毎日、スタンプラリー&クイズなどのお楽しみ企画も予定されています。



■開催期間

平成31年2月3日（日）～3月24日（日）

■場所

世界の椿館・基石（大船渡市末崎町）

■お問い合わせ先

つばきまつり実行委員会事務局

（大船渡市農林水産部農林課）

電話：0192-27-3111